



千葉県の支援策について

〈ヤチヨ・ゼロカーボンGXセミナー〉

2026年1月22日

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター 事務局
(株式会社ちばぎん総合研究所)

このチラシをご覧になったことはありますか？

エネルギー価格上昇で悩む千葉県の中小企業の皆さま

エネルギー使用量の把握や補助金活用等から
“脱炭素”に取り組んでみませんか？

私たちが

脱炭素と**省エネ**
コスト削減

を**サポート**します！！

千葉県 chiba prefecture が設置した公的な機関で、
 専門家である相談員に**無料で相談**できます

相談員は
「エネルギー管理士」や**「中小企業診断士」**の資格保有者です



「エネルギー管理士」とは
 国家資格を持つ、
 「エネルギー使用合理化」の
 プロフェッショナルです。

「中小企業診断士」とは
 国が認定した、
 「中小企業経営サポート」の
 プロフェッショナルです。

具体的な相談事例、申込方法などを裏面に記載しています。ぜひご覧ください！

中小事業者等向け脱炭素化（伴走型）相談支援事業
千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

令和7年度千葉県
 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金
 中小事業者等向けスマート省エネ技術導入促進事業補助金

中小事業者等の脱炭素化に向けて
**設備導入費用・
 省エネ診断費用
 などの一部を
 補助します！**



事業HP 

上限額・補助率

業務用設備等脱炭素化促進事業		スマート省エネ技術導入促進事業
01 省エネ診断枠 1,000万円 補助率1/2	02 簡易自己診断枠 500万円 補助率1/4	03 EMS導入枠 1,000万円 補助率1/3 ※省エネ診断は不要

対象者

次の要件を満たす千葉県内で事業活動を営んでいる中小事業者等¹⁾（みなし大企業除く）

CO2CO2 「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に登録（申請）していること	CO2CO2 「省エネルギー診断」を受診、「簡易自己診断」を実施していること（EMS導入枠は不要）
--	--

※1「中小事業者等」には一定の条件を満たす高成長法人、個人、特定非営利活動法人などが含まれます。詳しくは交付要綱をご確認ください。

対象事業

- 「省エネルギー診断」を受診または「簡易自己診断」を実施した結果に基づき、省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資する設備を導入する事業であること（省エネ診断受診費のみの申請も可能です）(01, 02)
- 本事業の実施により削減されるエネルギー起源二酸化炭素排出量が**年間3トン以上**の事業であること (01, 02)
- 事業要領で定める要件を満たすEMSを導入する事業であること (03)
- 現に補助事業に着手していないこと (01, 02, 03)

LED照明40形2灯式×50台

受付期間

2025年5月16日(金)	10月17日(金)	12月12日(金)	2026年1月30日(金)
「省エネ診断枠」「簡易自己診断枠」交付申請の受付期間		「EMS導入枠」交付申請の受付期間	
実績報告書受付期間(施工・支払い完了後速やかに提出)			
実績報告書受付期間(施工・支払い完了後速やかに提出)			

手厚がなくなり次第受付終了となりますので、お早めにお申込みください。

裏面をご覧ください！

01 支援センターの概要

- 支援センターができること
- 事業の背景

02 支援センターの利用方法

- 支援センターの体制
- 昨年度の利用実績
- 相談事例
- 利用方法
- セミナーやワークショップの開催

03 補助金等の活用

- 補助金を活用した脱炭素化の流れ
- 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金
(今年度終了)

プログラム

01 支援センターの概要

- 支援センターができること
- 事業の背景

02 支援センターの利用方法

- 支援センターの体制
- 昨年度の利用実績
- 相談事例
- 利用方法
- セミナーやワークショップの開催

03 補助金等の活用

- 補助金を活用した脱炭素化の流れ
- 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金
(今年度終了)

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センターができること

中小事業者等の脱炭素化に向けて、
専門家が伴走型の相談支援を「無料」で実施します！

【主な内容】

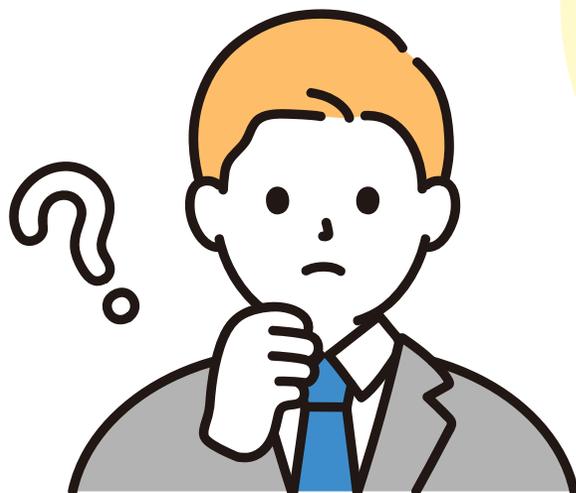
- ① 脱炭素化のアドバイスやエネルギーコスト削減の提案
- ② 補助金の案内
- ③ セミナーやワークショップを通じた普及啓発

今年で2年目です！



事業の背景

千葉県の中小企業からいただく声



脱炭素ってよく聞くけど、
うちはまだ関係ないよね？

事業の背景

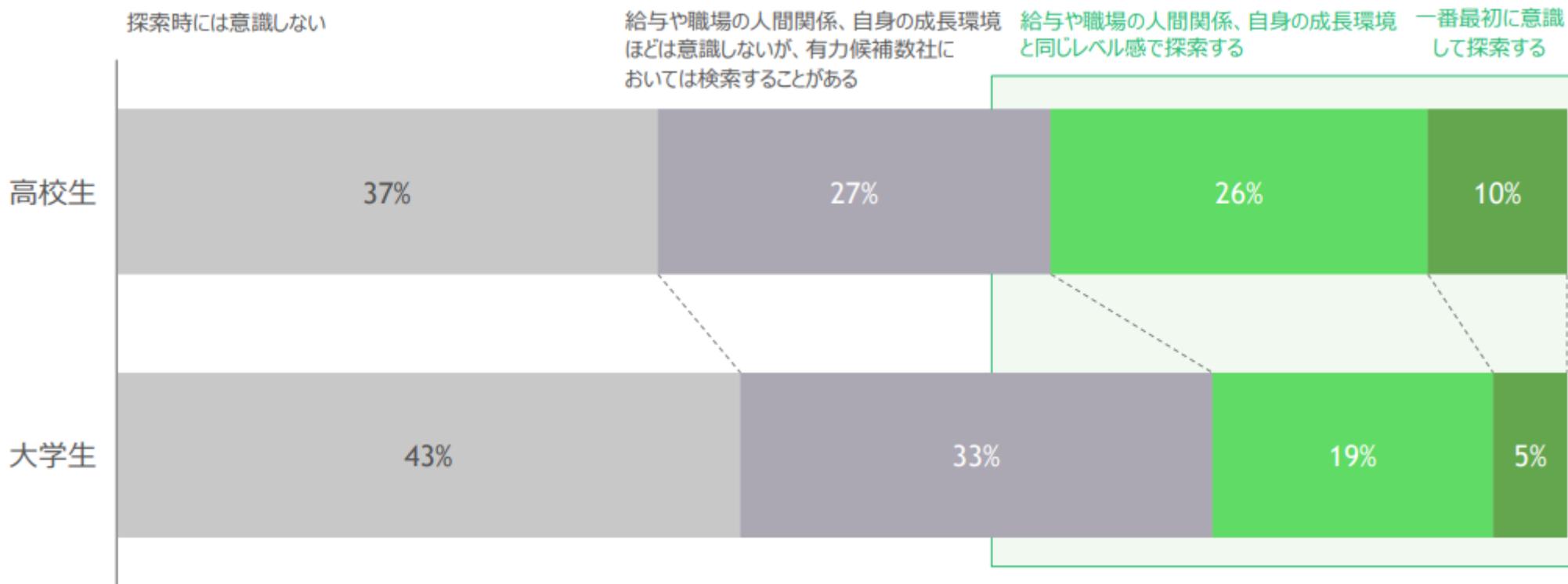
一方で、周りの中小企業は取り組んでいます

- ✓ 約7割が「脱炭素に関する取組」を実施
- ✓ 4社に1社が「エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の把握・算定」を実施
- ✓ 4社に1社が「取引先から温室効果ガス排出量の把握・算定などの要請を受けている」

脱炭素に向けた取組の有無が、取引上の競争力に直結
= 中小企業の経営戦略にとっても重要な課題

参考) 脱炭素に取り組むメリット

給料と同レベルで気候変動への取組を重視し就職先を探す層が
大学生で24%、高校生で36%



中小企業の課題

脱炭素に取り組むハードルについて、
約6割の企業が
「マンパワー・ノウハウが不足」と回答

「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」
をご活用ください！

プログラム

01 支援センターの概要

- 支援センターができること
- 事業の背景

02 支援センターの利用方法

- 支援センターの体制
- 昨年度の利用実績
- 相談事例
- 利用方法
- セミナーやワークショップの開催

03 補助金等の活用

- 補助金を活用した脱炭素化の流れ
- 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金
(今年度終了)

支援センターの体制

専門家が、あなたの相談にこたえます



エネルギー管理士等で
エネルギー使用合理化のプロ



中小企業診断士
中小企業経営サポートのプロ



製造業等での現場経験 × 経営視点での脱炭素化

昨年度の利用実績

事業者数

87

事業者

相談件数

160

件

昨年度の利用実績

利用者の特徴

従業員数

7割が100名以下の企業

101名以上の企業はリピート利用が多い

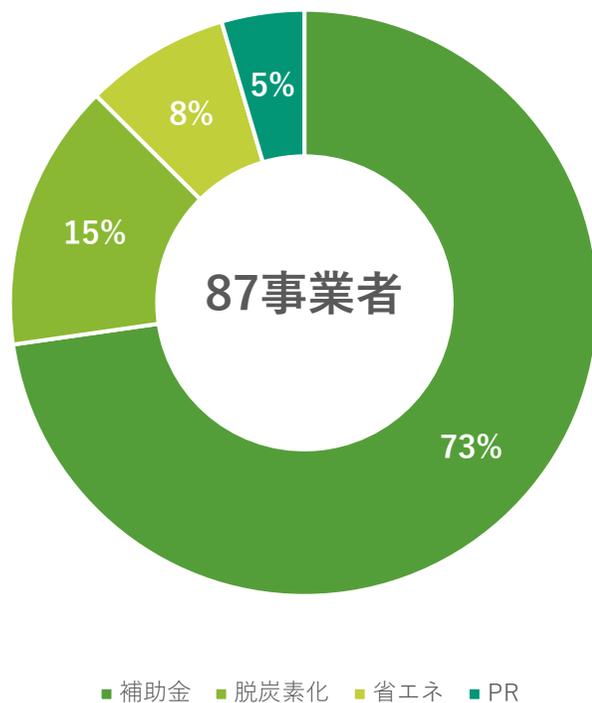
利用の多かった 業種ランキング

1. 製造業
2. サービス業
3. 建設業
4. 卸・小売業

昨年度の利用実績

相談内容は、7割が「補助金活用」に関すること

相談内容の内訳



1. 補助金を活用したい

- ・ 設備を導入したいが、使える補助金がないか？
- ・ 申請にあたって手順等を教えてほしい。

2. 脱炭素化や省エネの取組み方について知りたい

- ・ 意識改革（経営層の理解、従業員への教育等）
- ・ 運用改善（日常活動の行動変容、お金をかけずに脱炭素）
- ・ 設備更新または設備導入（設備の高効率化）

3. 脱炭素化の取組を対外的にPRしたい

- ・ CO2CO2スマート宣言
- ・ SDGsパートナー登録
- ・ 排出量算定、公表

← 今年度、
ご相談が増えています！

昨年度の利用実績

ご相談の一例

- ☑ 脱炭素経営について知りたい
- ☑ エネルギーコストが上がって困っているので、何か対策できない？
- ☑ 工場を見て省エネのポイントを教えてください
- ☑ 設備更新に使える補助金はある？
- ☑ 温室効果ガスの排出量を把握したい
- ☑ 自社の取組をアピールする方法を知りたい

その他、脱炭素全般の相談が可能です。

昨年度の利用実績

利用者にご好評いただいた点

- 事業所や工場で実際に設備を見てもらい、
専門家の知見にもとづくアドバイスを受けることができた。
- 設備を導入した際の投資対効果や更新効果の試算が得られた。
- 電気代等の資料をもとに、現状分析をしてもらえた。
- 投資による省エネだけではなく、自社の経営状況に寄り添った
運用改善のアドバイスがあった。
- 面談をつうじて脱炭素に取り組む意義を理解することができ、
排出量算定に取り組む決意ができた。

事例 1 省エネ手法やエネルギーコスト削減のご提案

相談者

金属加工業
従業員10名前後

相談概要

設備から発せられる熱で**工場がとても暑く、温度を下げたいがコストが不安。**
電気代が高騰しているため、電気代を抑える方法も知りたい。

ご提案内容

サーモグラフィで工場各部の温度を計測し、熱がこもる箇所を特定。対策として、効果的な空調設置場所や遮熱塗料の塗布を提案。
1日の電力使用量の推移を確認し、ピーク電力カットによる電気代削減の手法を提案。

職場環境悪化に対し、どのような打ち手が効果的かわからず相談しました。

相談員が「サーモグラフィ」で工場内をくまなく調査してくれたことに驚きました。

電気代や対策に要するコストに不安を感じていましたが、当社の状況に合わせた複数の提案をもらえて非常に満足しています！



今年度、「当社の工場も調査してアドバイスしてほしい！」
というご相談をいただいています。

事例 2

取引先との関係強化を見据えた脱炭素経営のご支援

相談者

製造業
従業員30名前後

相談概要

将来的に取引先から温室効果ガス排出量の削減要請が来る可能性が高いと考えており、現状の排出量を算定したい

ご支援内容

温室効果ガス排出量削減に対する世の中の流れをふまえ、温室効果ガス排出量算定方法について助言。複数回の相談や訪問により、排出量算定の取組をはじめ、活動の評価方法や脱炭素経営の方向性の検討をご支援。

温室効果ガス排出量算定の必要性は感じていたものの、やり方がわからず困っていました。

相談員の丁寧な説明により理解が進み、自社のScope1.2を算定することができました。活動の成果を図る指標についても「**当社のビジネスモデルに合わせて**」考えてもらえました。

今後は削減計画の策定にチャレンジしたいと思い、引き続き相談員に相談しながら進める予定です。



今年度、「当社も取引先との関係強化を見据え、排出量算定に取り組みたい！」というご相談をいただいています。

その他の事例は、ホームページに掲載しています
<https://chiba-datsutanso.pref.chiba.lg.jp>



利用方法

対象者

千葉県内に事業所をもつ企業・団体・個人事業主等

相談方法

窓口への来所、Web面談、メール、電話、訪問
※すべて無料

相談時間

1回あたり90分程度
(回数の制限なし)

開設期間

2025年5月7日(水)から
2026年3月31日(火)まで

受付時間

平日9時～12時、13時～17時
*土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

場所

千葉市美浜区中瀬1-10-2
ちばぎん幕張ビル

アクセス

JR「海浜幕張駅」より徒歩10分
東関東自動車道「湾岸千葉IC」
より車で5分



利用方法



申込

専用ウェブサイトより事前にお申込み。

【URL】

<https://chiba-datsutanso.pref.chiba.lg.jp>



ご相談

来所、Web面談、電話、メール、訪問により、専門家が利用者の取組の状況や設備の現状を確認します。



伴走支援

利用者の現状をふまえ、取組の提案や支援策の案内を行い、脱炭素化への取組を継続してサポートします。

*** 昨年度は、9割の利用者が複数回利用しました！**

セミナーやワークショップの開催



ちば 脱炭素 セミナー

〜ゼロからはじめる脱炭素経営〜

脱炭素の基本から、
先進企業の取組事例、
支援制度まで、わかりやすく解説します！

2025年
7月10日(木)
14:00 - 15:50
(13:30受付開始)

セミナートピックス

- ✓ 脱炭素とは？なぜ今、中小企業にも必要なのか
- ✓ 先進的に取り組む企業の事例紹介
- ✓ 活用しやすい補助金・支援制度の紹介
- ✓ まずは相談！脱炭素経営の第一歩（個別相談会）

こんな方におすすめ！

脱炭素に関心はあるが、まだ取り組めていない方
取引先からの環境対応の要請に備えたい方
補助金を活用して設備更新を考えている方
省エネ・コスト削減に興味のある経営者・担当者

プログラム

基調講演

脱炭素経営に取り組む意義
環境省 地球環境局
地球温暖化対策課
脱炭素ビジネス推進室



第一部

取組企業の事例
株式会社大川印刷
代表取締役社長
大川 哲郎 氏



第二部

取組企業の事例
株式会社紀文食品
執行役員 生産支援推進
室長 兼 技術部長
田中 真澄 氏



第三部

千葉県の実践について
千葉県の実践について
業務用設備等脱炭素化
促進事業等補助金事務局
千葉県中小事業者等
脱炭素化支援センター



場所

千葉銀行本店3階 大ホール
(千葉市中央区千葉港1-2)
またはオンライン

参加

無料
事前申込制
*7月8日(火)までに
お申込みください。

申込は裏面へ

主催：千葉県

選ばれる企業になる。 中小企業向け「脱炭素スクール」 開講します！



企業価値を高める「脱炭素経営」の第一歩、
一緒に踏み出してみませんか？

このスクールをつうじて得られること

- ✓ 脱炭素に向けた自社のロードマップ
- ✓ 温室効果ガス排出量の算定方法
- ✓ 取引先、消費者、求職者へのPR方法
- ✓ 専門家による伴走型サポート
- ✓ 参加無料。全4回でステップアップ！

日時

原則、全4回受講
いただけます。

第1回 9月16日(火)
第2回 10月10日(金)
第3回 11月5日(水)
第4回 12月11日(木)
※各回14時~16時

会場

ちばぎん総合研究所
稲毛セミナールーム
(千葉市稲毛区小仲台2-3-12)
またはオンライン(Zoom)

対象者

千葉県内の中小企業
業種不問
会場定員：20名

申込

9月2日(火)までに
申込フォームよりお申込みください。
【URL】
<https://chiba-datsutanso.pref.chiba.lg.jp/school/>



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

申込はこちら



HPはこちら



主催：千葉県
運営：千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター
(事務局：株式会社ちばぎん総合研究所)

043-296-3217

chiba-soudan@crinet.co.jp

プログラム

01 支援センターの概要

- 支援センターができること
- 事業の背景

02 支援センターの利用方法

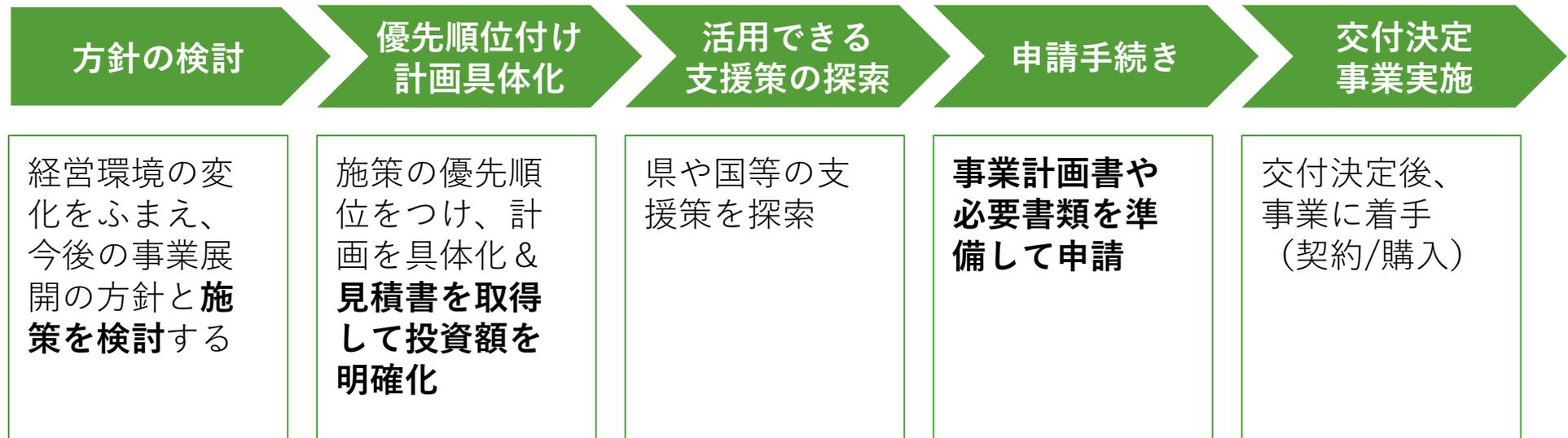
- 支援センターの体制
- 昨年度の利用実績
- 相談事例
- 利用方法
- セミナーやワークショップの開催

03 補助金等の活用

- 補助金を活用した脱炭素化の流れ
- 業務用設備等脱炭素化促進事業補助金
(今年度終了)

補助金を活用した脱炭素化の流れ

事前準備が肝要です



県補助金は、今年度「17日」前倒しで募集終了
事前の準備 & 速やかな申請が重要

⇒ 支援センターと準備を進めましょう！

業務用設備等脱炭素化促進事業補助金（今年度終了）

脱炭素化に向けた設備更新と省エネ診断の実施を支援

上限額・補助率

業務用設備等脱炭素化促進事業

スマート省エネ技術導入促進事業

01 省エネ診断枠
1,000万円
補助率 1/2

02 簡易自己診断枠
500万円
補助率 1/4

03 EMS導入枠
1,000万円
補助率 1/3
※省エネ診断は不要

対象者

次の要件を満たす千葉県内で事業活動を営んでいる中小事業者等^{*1}（みなし大企業除く）

「ココソコCO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に
登録（申請）していること

「省エネルギー診断」を受診、
「簡易自己診断」を実施していること
（EMS導入枠は不要）

CO2CO2



※1 「中小事業者等」には一定の条件を満たす医療法人、組合、特定非営利活動法人などが含まれます。詳しくは交付要綱をご確認ください。

* 令和7年度の募集要領の内容であり、今後の同内容での実施を約するものではありません。

業務用設備等脱炭素化促進事業補助金（今年度終了）

脱炭素化に向けた設備更新と省エネ診断の実施を支援

対象事業	補助率上限	設備例
蓄電池の設置	<p>省エネルギー診断受診の場合 補助対象経費の1/2</p> <p>簡易自己診断実施の場合 補助対象経費の1/4</p>	蓄電池（自社所有の再エネ供給設備で発電した電力を蓄電する設備に限る）
省エネルギーの促進		LED照明器具、空調、変圧器、断熱・遮熱工事
未利用エネルギーの利用促進		工場排熱等利用設備
メタン・代替フロン等の温室効果ガス削減対策		省エネ型自然冷媒機器（冷凍冷蔵庫等）
再生可能エネルギーの利用促進		太陽熱、風力、バイオマス、水力等再生可能エネルギー供給設備 ※太陽光発電設備を除く
その他	<p>補助対象経費の1/2</p>	省エネルギー診断により提案のあったその他設備で県が適当と認めるもの（ボイラー、給湯器、コンプレッサー、工業炉、生産設備、給排水・排水処理設備など）
		県が指定した機関による省エネルギー診断の受診費用

* 令和7年度の募集要領の内容であり、今後の同内容での実施を約するものではありません。

お問い合わせ先

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル
(株式会社ちばぎん総合研究所内)

☎ 043-296-3217

✉ chiba-soudan@crinet.co.jp

専用ウェブサイト

